

野球ひじ検診のご案内

【保護者・指導者のみなさまへ】

野球ひじ検診は2012年（平成24）年より千葉大学整形外科上肢グループ（代表：千葉大学 落合信靖医師）の取り組みとして、県内各地で離断性骨軟骨炎（りだんせいこつなんこつえん、参考 URL；<https://www.fff.or.jp/clinic-funabashi/ftopics.php?i=r19>）の早期発見および投球障害予防を目的として開始されました。市川市でも2015年より、野球ひじ検診を実施しておりますが、昨年に引き続き、当クリニックで開催の運びとなりました。未来ある子ども達のために、スタッフ一同ご協力させていただければと思います。

【当クリニック利用・検診に関するご案内】

1) 船橋整形外科市川クリニック 交通アクセス；<https://www.fff.or.jp/clinic-ichikawa/access.php>

※専用駐車場はございません。お車でお越しの場合は駅近隣駐車場をご利用ください。

※クリニック正面の道路は道幅が狭いため、路上停車での乗降につきましてはお控えください。

2) 別途お送りした①～⑩グループごとに来館・検診となります。入館時に個人識別のため、配布したアンケートを提出してください。帯同指導者・保護者の方は当日受付で記名をお願いいたします。

※館内の人数調整のため、各チーム帯同指導者・保護者は最低1名以上、最大3名までといたします。

20名を超えるチームについては4名までといたします。

3) 入館時に施設に配備されているサーモグラフィでの検温・アルコール手指消毒にご協力ください。

サーモグラフィで規定値を超える場合は当院規定に則り隔離・検温などを行います。

※検温等の状況により入館をお断りする場合がございます。ご了承ください。

4) 検診は一般の診察・治療行為を行うものではありません。検診結果に基づき、医療機関での診察・

加療が望ましい場合は帯同指導者・保護者のみなさまへ医師よりお伝えいたします。

【検診内容・参加スタッフ】

内容：エコーを用いた肘関節の検診

医師：落合信靖（千葉大学）、星加昭太、玉置大恵、喜友名翼（船橋整形外科グループ）

理学療法士：15名（船橋整形外科市川クリニック、現場責任者：仲島佑紀・網代広宣）

以上となります。当日はお気をつけてお越しください。

船橋整形外科市川クリニック理学診療部 仲島佑紀